

令和8年度沖縄型総合就業支援拠点形成事業業務委託に係る企画提案公募実施要領

本公募は、令和8年度の当初予算成立を前提とした年度開始前の事前手続きであり、予算成立後に効力を生じるものです。県議会において当初予算案が否決された場合、又は、予算額に変更があった場合には、契約を締結しないことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 業務名

令和8年度沖縄型総合就業支援拠点形成事業業務委託

2. 業務の目的

沖縄型総合就業支援拠点形成事業業務委託（以下「本業務」という。）は、就職・雇用等に関する求職者や事業主等の様々なニーズに対応するため、公労使一体となって、雇用の創出と安定化を図る総合的な支援拠点であるグジョブセンターおきなわ（以下「センター」という。）について、沖縄県商工労働部雇用政策課（以下「沖縄県」という。）と緊密な連携を図りながら、センター管理運営や総合窓口業務を行うものとする。また、労働需給ミスマッチの解消に向けて、将来的に就労支援エコシステムを構築するため、センターを中心に県内関係機関等のネットワークを強化・拡充するための取組を行うものとする。

3. 企画提案上限額

委託料 74,970千円（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

※当該金額は、企画提案において提示する金額の上限額であり、契約金額ではありません。

4. 委託業務の期間

契約締結の日から令和9年3月31日（※）

※本事業は令和9年度以降にも継続実施を予定しており、今回、企画提案公募により選定した受託事業者には、令和8年度から令和10年度まで継続して委託することを前提に選定を行う。

※事業の実施状況により事業実施者として適切か否か判断し、事業年度ごとに契約を行う。

令和9年度以降においては、必要に応じて事業期間、事業規模及び事業内容の見直しを行う場合がある。また、各年度の国、県の予算状況によって契約の一部又は全部を締結しないことがある。

5. 委託する業務内容

令和8年度沖縄型総合就業支援拠点形成事業業務委託に係る企画提案仕様書（以下「企画提案仕様書」という。）のとおり

6. 応募者の資格

次の要件を全て満たす法人又は複数の法人からなるコンソーシアムとする。

- (1) 沖縄県内に事業所を有し、業務進捗状況や業務内容等に関する打ち合せに円滑に対応できる体制を有すること。コンソーシアムの場合は、構成員のうち1人以上がこの要件を満たすこと。
- (2) 地方公共団体等から本事業の実施内容に類似する業務の委託を過去3年以内に受けたことがあること。又は、過去3年以内に自主的な事業として類似する業務を実施し、公表したことがあること。なお、コンソーシアムの場合は、構成員のうちいずれか1人以上がこの要件を満たすこと。
- (3) 職業安定法(昭和22年法律第141号)第4条第9項に定める「職業紹介事業者」であること。コンソーシアムの場合は、構成員のうちいずれか1人以上がこの要件を満たすこと。

- (4) 本業務を履行することができる体制が整備されていること。コンソーシアムの場合、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
- (5) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定を準用して適用する。コンソーシアムの場合は、構成員の全てに準用して適用する。

※地方自治法施行令 抜粋※

第167条の4 普通地方公共団体は、特別の理由がある場合を除くほか、一般競争入札に次の各号のいずれかに該当する者を参加させることができない。

- 1 当該入札に係る契約を締結する能力を有しない者
- 2 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 3 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者

- (6) 宗教活動や政治活動を主たる目的とする団体でないこと。コンソーシアムの場合は、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
- (7) 以下の要件のいずれにも該当する者でないこと。コンソーシアムの場合は、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
- ① 法人の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）である。
 - ② 役員等が、自己、自社、若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている。
 - ③ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を提供し、又は便宜を供与するなど、直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している。
 - ④ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている。
 - ⑤ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している。
- (8) 県税、消費税及び地方消費税の滞納がないこと。コンソーシアムの場合は、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
- (9) 労働関連法令を遵守していること。コンソーシアムの場合は、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
- (10) コンソーシアムの場合は、コンソーシアムの中に管理法人を1者置くものとする。
管理法人は、本業務の運営管理、コンソーシアム構成員相互の調整、財産管理等の事務的管理を主体的に行う母体としての機関とし、コンソーシアムを構成する法人を代表する。
管理法人は以下の要件を満たすこと。
- ① 本委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有すること。
 - ② 本業務を円滑に遂行するために必要な管理能力を有すること。
- (11) コンソーシアムの構成員として企画提案を行う場合は、以下の要件も満たすこと。
- ① コンソーシアムの構成員が他のコンソーシアムの構成員として重複参加する者でないこと。
 - ② コンソーシアムの構成員が単体企業等としても重複参加する者でないこと。

7. 応募の手続き等

(1) 質問事項受付期間

- ① 期間：企画提案公募開始日から令和8年2月20日（金）16時 ※時間厳守
- ② 質問方法：【質問書】に記載し、「13. 連絡先」あてメール送信により提出すること。なお、必ず電話にて受信確認すること。
- ③ 回答方法：質問のあった事項については、原則として、最終回答日までに沖縄県商工労働部雇

用政策課ホームページに掲載する。

④ 最終回答日：令和8年2月24日（火）を予定

(2) 企画提案書等の提出

① 提出期限：令和8年3月5日（木）16時 ※時間厳守

② 提出場所：沖縄県商工労働部雇用政策課（沖縄県庁8階）

③ 提出書類：下記書類を必要部数、持参又は書留郵便（必着）で提出すること。

- ア. 企画提案応募申請書【様式1】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- イ. 誓約書【様式2】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ pp・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ウ. 企画提案書（※任意様式）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8部
- エ. 企画提案内容説明資料【様式3】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8部
- オ. 法人概要【様式4】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8部
- カ. 業務実績【様式5】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8部
- キ. 経費見積書【様式6】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8部
- ク. 実施体制図（任意様式）・スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8部
- ケ. 雇用機会創出・雇用環境改善等に関する取組状況【様式7】・・・・・・・・・・・・・・ 8部
- コ. 定款、規約等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8部
- サ. 貸借対照表（直近3期分）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8部
- シ. 損益計算書又は正味財産増減書などのこれに類する書類（直近3期分）・・・・ 8部
- ス. その他、法人の概要が分かる参考資料（パンフレット等を想定。提出は任意）8部
- セ. 都道府県が発行する都道府県税に未納がないことの証明書・・・・・・・・・・・・ 1部
- ソ. 税務署が発行する消費税及び地方消費税に未納税額がないことの証明書・・・・ 1部
- タ. コンソーシアム協定書（コンソーシアムの場合に限る）【様式8】・・・・・・・・ 1部
- チ. 職業紹介事業者の許可証等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部

※カについては、「6. 応募者の資格」(2)の内容が確認出来るものとする。

※キ及びクについては、令和8年度から令和10年度まで、年度毎に作成すること。

※タについては、沖縄県が提示したひな型を原則として使用すること。ひな型の各条項を削除することは、原則として認めない。

※コンソーシアムの場合、イ、オ、カ、ケ～ソについては、構成員ごとに提出すること。

※8部提出する書類については、A4長辺側に穴開けし、ウからスの順に1部ずつ一式にまとめて綴り、提出すること。

8. 委託候補者の選定

(1) 第1次審査（書類審査）

企画提案者が多数の場合、最終審査に先立ち、沖縄県商工労働部雇用政策課にて書類審査を行い、上位3者程度を選定する。

選定された事業者に対しては、最終審査（プレゼンテーション審査）の日時をメール等で連絡し、選定されなかった事業者に対しては、結果のみをメールで通知する。なお、連絡等は、3月6日（金）頃を予定している。

(2) 最終審査（プレゼンテーション審査）

企画提案選定審査会において、企画提案者のプレゼンテーション及び企画提案内容等を審査し、受託候補者の優先交渉順位を決定する。なお、プレゼンテーションは、提出期限までに提出された企画提案書等を基に行うこととし、それ以外の資料等については、審査対象外とする。

① 日時：令和8年3月13日（金）午前中を予定。

② 場所：県庁庁舎内の会議室

※日時及び場所は、確定した後に別途連絡する。

※最終審査は、説明及び質疑応答とも各15分程度を予定。

(3) 主な評価項目（100点満点）

① 適合性（15点）

事業の趣旨と企画提案のコンセプトが合致しているか。

② 実績（20点）

業務実施に必要な専門的知見及び業務実績を十分に有していると認められるか。

③ 具体性（35点）

企画提案の内容や業務実施の方法が妥当であり、具体性があるか。

また、業務の実施効果を高めるため、企画提案仕様書で示した業務以外の独自の手法による提案が企画提案上限額の範囲内で示されているか。（※記載は任意）

④ 実施体制（10点）

業務を実施するに当たり、妥当な人員配置や沖縄県との連絡体制となっているか。

⑤ 妥当性（10点）

業務を実施するに当たり、妥当な積算となっているか。

⑥ スケジュール（5点）

業務を実施するに当たり、妥当なスケジュールが計画されているか。

⑦ その他（5点）

雇用機会創出・雇用環境改善等に関する取組を実施しているか。又は、「所得向上応援企業認証制度」などの沖縄県認証を受けているか。

(4) 委託候補者決定等

審査結果は、令和8年4月1日以降に通知する。

9. 企画提案書の作成方法

上記7(2)③ウの企画提案書（任意様式）は、A4版20ページ以内とし、片面印刷とすること。

企画提案書は、8(3)を踏まえ、以下の項目について具体的に記載すること。

(1) 沖縄県における求職者の特性と効果的な就業支援に対する考え方について

(2) ワンストップ支援の効果と企画提案のコンセプトについて

(3) 令和8年度沖縄型総合就業支援拠点形成事業業務委託に係る企画提案仕様書

「8 委託業務内容」の(1)～(11)に関することについて

(4) その他

本業務の実施効果を高めるため、企画提案上限額の範囲内で、企画提案仕様書8(1)～(11)について追加して行う、又は、それ以外で行う、自主提案業務など

※企画提案書については、3年度分の企画提案書を提出する必要はなく、令和8年度に実施する企画提案内容を中心に、令和10年度までの3か年を見据えた事業展開等を含めて作成すること。

10. 契約

(1) 契約の締結

委託候補者と業務内容及び契約金額を協議した上で、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定に基づき、契約を締結する。

(2) 契約金額

契約金額については、委託候補者から見積書を徴取し、予定価格の範囲内において決定する。なお、企画提案時に提出された経費見積書と同額とならない場合がある。

(3) 契約条項

委託候補者との協議事項とする。

(4) 契約金額の支払方法

受託者から提出される実績報告書を基に、受託者が業務の実施に要した経費等から支払うべき額を確定する「精算」の方法をとる。なお、契約締結後、契約金額の一部について概算払請求を行うことができる。

(5) 契約保証金

契約締結の際は、契約保証金として契約額の100分の10以上の額を、契約締結前に納付する必要がある。ただし、沖縄県財務規則第101条第2項の各号のいずれかに該当する場合は、契約保証金の全部又は一部の納付を免除することができる。

※沖縄県財務規則 抜粋※

第101条 地方自治法施行令第167条の16第1項の規定による契約保証金の率は、契約金額の100分の10以上とする。

2 前項の契約保証金は、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、その全部又は一部の納付を免除することができる。

- (1) 契約の相手が保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。
- (2) 契約の相手方から委託を受けた保険会社、銀行、農林中央金庫その他予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号)第100条の3第2号の規定により財務大臣が指定する金融機関と工事履行保証契約を締結したとき。
- (3) 契約の相手方が国(独立行政法人、公社及び公団を含む。)又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を締結した実績を有し、これらのうち過去2箇年の間に履行期限が到来した二以上の契約を全て誠実に履行し、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。

(以下、略)

11. 経費の計上

対象経費は業務の執行に必要な経費とし、具体的には以下のとおりとする。

7(2)③キの経費見積書は、以下を踏まえて作成すること。

経費区分	備考
I. 人件費	本業務に従事する者(の作業時間)に対する人件費。
II. 事業費	旅費、会議費、謝金、借料及び損料、消耗品等、印刷製本費、通信運搬費、その他諸経費等本業務に必要な経費。
III. 再委託費	沖縄県との取り決めにおいて、受託者が当該業務の一部を他社に行わせる(準委任又は請負)ために必要な経費。 (例) 清掃料や電気設備保守点検料、警備料の経費等
IV. 一般管理費	本業務を行うために必要な経費であって、当該事業に要した経費としての抽出、特定が困難なものについて、委託契約締結時の条件に基づいて一定割合の支払いを認められた間接経費。 次の計算式により算出すること。 (I. 人件費 + II. 事業費) × 10/100以内(小数点以下切り捨て)
V. 消費税相当額	次の計算式により算出すること。 (I. 人件費 + II. 事業費 + III. 再委託費 + IV. 一般管理費) × 消費税率(10/100)(小数点以下切り捨て)

12. その他

- (1) 企画提案書等の作成に要する経費、企画提案選定審査会に参加する経費等については、参加者の負担とする。
- (2) 提出する企画提案書は、1事業者（コンソーシアム）あたり1案に限るものとする。
- (3) 提出された企画提案書等については返却しない。
- (4) 委託先選定に関する審査内容及び経過等については公表しない。
- (5) 採否に関する異議申し立て等は受け付けない。
- (6) 採用された企画提案書等については、実施段階において予算や諸事情を勘案し、協議により変更することがある。
- (7) 以下のいずれかの事項に該当する場合は、失格又は無効とする。
 - ① 提出期限を過ぎて提出書類が出された場合
 - ② 「6. 応募者の資格」で定める要件を満たさない場合
 - ③ 提出した書類に虚偽の内容を記載した場合
 - ④ 本要領に違反すると認められる場合
 - ⑤ 審査の公平性に影響を与える不正行為があった場合
 - ⑥ その他、担当者があらかじめ指示した事項に違反した場合

13. 連絡先

沖縄県商工労働部雇用政策課

雇用企画班 名城、糸満

住所：〒900-8570 那覇市泉崎1丁目2番2号（沖縄県庁8階）

TEL：098-866-2324 FAX：098-866-2447

Mail：aa059100@pref.okinawa.lg.jp